

かけはし

テクノロジーでつながる、よりよい未来への懸け橋

August

2024, 8

特集：

Copilot が変える日々の働き方

INDEX

Featured Topic

1. 国民の皆さんからの多種多様なお問い合わせ
職員の皆様を縁の下から支える活用案
～ 回答(案)作成のチャットボットわずか3ステップ～
2. Copilot for Microsoft 365 で日々の業務はこう変わる！
3. 社会重要インフラを担う業界での
Copilot for Microsoft 365 活用例
4. 製薬企業向け Copilot 利活用集公開！
5. Copilot で変わる教員の日！

News

1. 中央省庁などを対象とした生成 AI 活用セミナーを実施
2. J-LISフェア2024にて Copilot for Microsoft 365 等
生成AI技術や公共事例の紹介ブースを出展！
3. 自治体最新事例 Webサイトにて続々公開中！
4. 社会重要インフラ を対象としたラウンドテーブルを実施
5. 愛仁会様 Teams x 電子カルテ連携事例公開
6. 「公共機関向け Microsoft AI ロードショー」開始

国民の皆さんからの多種多様なお問い合わせ 職員の皆様を縁の下から支える活用案

～ 回答(案)作成のチャットボットわずか3ステップ～

【最新動向】職員の皆様の作業時間短縮のために生成 AI + ローコードの活用

設定とローコードにより、お客様自身によって、職員向け作業支援チャットボットを運用できます

【活用案①】原課をまたぐ各種問い合わせに対応

各種施策、過去の答弁内容、法令、省令、職務規程、文書作成ガイド、省内横断プロジェクトなどについて、目的の文書にたどり着くまでに時間がかかっていませんか？職員用チャットボットを自前で作って目的の文書の発見までの時間を短縮しましょう。

【活用案②】お客様相談窓口

国民の皆さんから日々多種多様なお問い合わせがあり、どこかで見たな、読んだことあるな、と思った資料、しかし検索でなかなか見つけれずに、回答作成に時間がかかっていませんか？チャットボットで質問者への迅速な回答を縁の下から支えます。

【わずか3ステップ】チャットボットで省内の情報を素早く見つける手順

チャットボットに文書の保存先を教えてください

文書保管先の SharePoint サイト または 公開 Web サイトの URL を入力する。チャットボットの開始は、たったこれだけの手順です。

利用できるナレッジソースを追加する

このコパイロットの編集アクセス許可を持つユーザーは、コパイロットに含まれる他のトピックの接続を再利用することもできます。

一部のナレッジソースは作成時に利用できない場合があります。作成してから引き続き他のナレッジソースを追加できます

おすすめ

 公開 Web サイト 公開 Web サイトを追加し、リアルタイムで回答を取得します	 SharePoint と OneDrive 内部データをセキュアに統合し、管理する	 ファイル 自分のローカルコンピュータからドキュメントをアップロードする
---	---	---

【今、試してみよう】3ステップで、さっそくチャットボットを試してみましょ

皆様の組織の公開ホームページでチャットボットを試してみましょ

<https://web.powerva.microsoft.com/tryit> または QR コードでお試しサイトに移動します。

皆様の公開ホームページの URL を指定します。

- たとえば、以下のサンプルでは、デジタル庁ホームページ (digital.go.jp) を指定した場合です。
- 入力フィールドから、デジタル庁について質問してみましょ。(デジタル庁の長官はだれですか)
- どの文書を使って回答しているか、参照先へジャンプできますので、回答の正しさなどを検証することが可能です。

Web サイトの URL を入力してください

① digital.go.jp

チャットを開始する

> Web サイトの選択方法

② デジタル庁の長官はだれですか

たった今

デジタル庁の長官は河野太郎です。彼はデジタル大臣として活動しています。デジタル庁は、デジタル社会形成の司令塔として、DXを推進し、官民のインフラを構築することを目指しています [1]。

1件の参照

③ 河野太郎 | デジタル庁



【応用編】

職員用チャットボットを作成・活用して、毎日の業務効率化に活用ましょ

- ・ カチッと型にはまった定型型チャットボットも作成可能
- ・ チャットボットで回答が見つからないときは担当者へつなぎます
- ・ 情報保存先への接続コネクタは 1,000 以上をご用意
- ・ Power Apps と連携し、業務の自動化フローにも組み込み可能

Copilot for Microsoft 365 で 日々の業務はこう変わる！

自治体での Copilot for Microsoft 365 の検証のなかで見えてきた特に効果的なシナリオをご紹介します

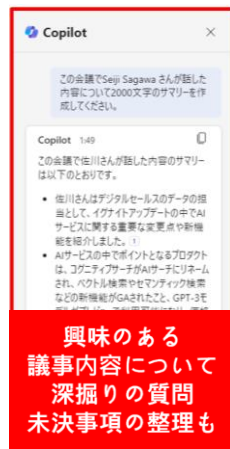
生成AIはチャットボットとして活用される以外にも、アプリケーションに組み込まれることでボタンひとつで自然言語を多様に処理してくれる大きな可能性を秘めています。

Copilot for Microsoft 365 は、OfficeのUIから生成AIを活用した様々な機能を気軽に呼び出せる製品です。今回は特に自治体での検証で人気のシナリオを3つご紹介します。

会議のメモ取りは「AI委託業務」に

Copilot for Microsoft 365 の検証で職員様に最も人気な機能は「Teams 会議の議事録作成」。

Copilot ボタンを会議開始時に押しておくだけで、だれが何を話し、どんな宿題があるかなどの議事メモを会議後数分で作成してくれます。さらに右側のウィンドウで、個別の質問に答えてもらうことも可能。もう議事録のために残業したり、議事録ができるのを待ったり、読んでもわからない点を人に聞く必要はありません。質問機能は会議中も利用可能なので、遅れて入った会議の流れや既出の質疑に追い付くことも簡単です。



休暇明け、メールやチャットに瞬時に追い付き、容易に返信

CCに入っている長いメールスレッドや、休暇中に流れてしまったチャットに追い付けず困ったことはありませんか？ Copilot for Microsoft 365 を使えば、長いやりとりのメールやチャットをボタンひとつで要約することや、文脈を加味したメールの草案を書いてもらうことも可能です。「了解、お礼」だけ入力すればまるで予測変換のようにメール文案を出力してくれます。



Copilot for Microsoft 365 で 日々の業務はこう変わる！

自治体での Copilot for Microsoft 365 の検証のなかで見えてきた特に効果的なシナリオをご紹介します

資料の「たたき台」作成はAIにお任せ

「Word で届いた通知を Power Pointに書き換えたい」「仕様書や上申書のたたき台を作りたい」などというときには、最初の「たたき台」の作成が高いハードルになることがあります。Copilot for Microsoft 365 を使うことで、Word ファイルをもとに Power Point のプレゼンテーションを作成したり、様式がある程度決まった書類のたたき台を作成してくれます。また、階層型ファイルをたどることなく、「Aさんが共有していた○○についてのファイルを探して」などと自然言語で話しかけて資料を探すこともできます。



このように、Copilot for Microsoft 365 は日々の業務の一挙一動に生成AIのアシストを加えることで、皆様のお仕事を支援します。今回は特に自治体での検証で人気のシナリオをご紹介しましたが、これらはどの業界のオフィスワーカーにも役立つ機能ばかりです。人が電卓を使ってした計算をわざわざ「電卓計算」と呼んで区別することがないように、人が生成AIの力を借りて日々の業務をこなすこともその人自身の作業の自然な延長としてとらえられる日が近いと感じます。

社会重要インフラを担う業界での Copilot for Microsoft 365 活用例

私たちの生活の基盤を支える社会重要インフラ業界（クリティカルインフラ）での生成AIの活用シナリオを紹介いたします。

活用例 1：文書の新旧対照表の作成

公共的側面を持つ企業・団体では、官公庁が定める文書などを始めとした規程・業務マニュアル類の改訂管理業務が日々発生します。その際に、Microsoft Copilot のチャット機能を活用することで、時間をかけずに修正内容を確認して新旧対照表を作成することに活用されています。

[比較対象ファイル名 (変更前)]、[比較対象ファイル名 (変更後)]

2つのファイルを詳細に比較し、各項目の差分を表形式でまとめてください。

- 全文比較に基づく詳細な差分の表を作成してください。
- 表には各項目に対する「比較結果」の列を含め、類似点、相違点がわかるように具体的に示してください。

活用例 2：フォーマットを利用した議事録の作成

Microsoft Teams 上で利用できる Microsoft Copilot in Teams を活用して会議の議事録を生成することができます。自動生成を行う際に、見出し項目を予めプロンプトに組み込み指示を出すことで、よりニーズに沿った議事録を作成することが可能です。

議事録の要求に基づいて、以下の情報を提供します：

- 日時:
- 参加者:
- 主な議論内容:
- 決定事項:
- アクション:

以下のフォーマットで議事録を作成してください。
#日時#参加者#主な議論内容#決定事項#アクション

活用例 3：報告書のレビュー

先にご紹介した活用例に見る通り、業務で作成する資料や報告書作成は、内容に対して高い網羅性を求められ、かつ高い頻度で発生する業務です。Microsoft Word 上で利用できる Microsoft Copilot in Word で、不足している項目がないか確認することができます。これにより、例えば報告書を作成してから同僚や上司にレビューをしてもらう前に、客観的な視点で資料の内容を振り返り、簡単に改善することができます。

既設トンネルの覆工背面空洞調査レポート

2024年7月17日

調査の目的

本調査は、トンネルの状態を点検する定期調査です。トンネルの覆工背面に空洞が発生すると、覆工の強度が低下したり、水の浸入や凍結によって覆工が破損したりする可能性があります。そのため、覆工背面の空洞の有無や覆工のひび割れの状況を調べることで、トンネルの安全性と耐久性を確保することができます。

作業員

作業員は以下の通りです。

- 作業員：舞黒太郎、舞黒花子

調査結果

調査したトンネルは、全長約 300 メートル、断面メートルです。調査方法は、覆工背面に超音波を当て、空洞の有無や覆工のひび割れの状況を判調査の結果、覆工背面には空洞は見られませんが、クラックのブレイク化は見られました。覆工の

この資料に足りていない項目はありますか？

不足している可能性のある項目としては、以下のようなものが考えられます：

- 調査の背景や前提条件
- 使用した機材や技術の詳細
- 調査の具体的な手順
- 調査結果の詳細な分析や考察
- 今後の対応策や提案

製薬企業向け Copilot 利活用集公開！

製薬企業向けCopilot for Microsoft 365 プロンプト集

製薬企業にてお仕事されている方に適したCopilot for Microsoft 365のプロンプト例集を弊社ウェブページにて公開予定です。今後Copilot for Microsoft 365のご活用を検討される上で参照いただけますと幸いです。

■コンテンツ例

MR向けのプロンプト例 研究開発向けのプロンプト例 バックオフィス(HR, Finance IT等)向けのプロンプト例

製薬業界は、医療の進歩や社会のニーズに応えるために、常にイノベーションを求められています。しかし、その一方で、厳しい規制や競争、コストや時間の制約など、様々な課題に直面しています。そこでこの度、より業務の効率化を進め、本業に集中して業務が行えるよう製薬業界に特化した Copilot for Microsoft 365 の活用シナリオとプロンプト例をまとめたドキュメントを作成しました。

研究開発向け活用シナリオとプロンプト例

研究開発は、製薬業界の中核を担う重要な業務になります。研究開発では、最新の研究動向や論文を追いかけたり、臨床試験の結果を分析したり、研究成果を発表したりすることが求められます。しかし、研究開発は、高度な専門知識や技術を必要とするだけでなく、多くの時間や労力を要することもあります。研究者が創薬研究セミナー(英語)に参加した際に、セミナー内容のキャッチアップを Copilot in Teams に出力させることが可能となります。

研究・開発向けプロンプト集①

想定シナリオ

- 創薬研究業務での機械学習の活用方法や可能性に関するレクチャーを米国拠点の研究者からの英語で講演
- 英語が苦手、もしくは、途中参加のメンバー向けに、Copilot in Teamsで内容を日本語の解説を依頼
- 以下プロンプトとスクリプト(一部) ※全体で約30分程度の講演を想定

プロンプト内容：創薬研究の領域で機械学習ではどのような事を実現できたと説明されていましたか。

Robert Researcher/Data Scientist
Today I will have the opportunity to explain you some of the work that we do at our company related to AI driven drug design and in particular I mean the pharmacokinetics department. And I would like to explain you how we include P and admin information into all these machine learning new workflows that are changing. The way that we are doing drug design, AI systems are currently used for drug discovery and little optimization efforts and actually machine learning models have permeated almost every step of the design. Make test and analyze cycle the PMTA cycle. For instance, the design of the molecules can already be done through generative modeling. As we have seen in previous talks and we can score either this AI based designs or human based designs with property prediction models which are based on machine learning. Once we have some compounds that we want to synthesize, we also have machine learning models that can help us how to plan the synthesis. And we've also seen some examples today and once we have the compound and we create a new experiments and new data points, then we can feed this data back to the model, improve our predictions and have a better loop.....

MR向け活用シナリオとプロンプト例

MRは、医師や薬剤師などの医療関係者に対して、製品の特徴や効果、安全性などを説明し、信頼関係を築くことが重要な業務です。しかし、MRは、膨大な情報や資料を管理しながら、時間や場所に制約されることも多くあります。Copilot for Microsoft 365 では以下のようなシナリオで文書作成業務をご支援できます。MRが医師に向けて講演依頼書を作成する際、そのドラフトを Copilot in Word に出力させることで簡単に依頼書を Word で作成することができるようになります。

MR向けシナリオ・プロンプト②

想定シナリオ

- MRが医師向けに講演依頼書を作成する
- ドラフト作成をCopilot in Wordで実施

プロンプト内容

#命令
あなたはマイクロソフト製薬に勤務するMRです。マイクロソフト製薬が主催する胃がんに関するシンポジウムを予定そのシンポジウムの中で東京病院の鈴木太郎先生に講演依頼の依頼書を作成してください。

#シンポジウムのテーマ
・胃がんと生活習慣の関係性

#条件
・企画書のタイトルは「講演の御願い」としてください
・最初に丁寧な挨拶文を入れてください。
・開催日は2024年8月25日としてください。
・他のセッションには、東京大学医学部 教授 から「胃がんの予防と早期発見の重要性」、国立がん研究センター 所長 から「胃がんの最新の治療法と展望」、パネルディスカッションがあります。
・会場は幕張メッセとしてください。
・シンポジウムのアジェンダは時間を付け、テーブル形式で記載してください。
・シンポジウム開始時間は、13:00、終了時間は、17:30としてください。
・鈴木太郎先生の講演時間は60分としてください。
・謝金は5万円としてください

[製薬向けCopilot for Microsoft 365 プロンプト集の発表ブログ](#)
[Copilot for Microsoft 365 活用シナリオ・プロンプト集 - 製薬業界のビジネスを加速する生成AIの活用法 - マイクロソフト業界別の記事](#)



Copilotで変わる教員の一日！

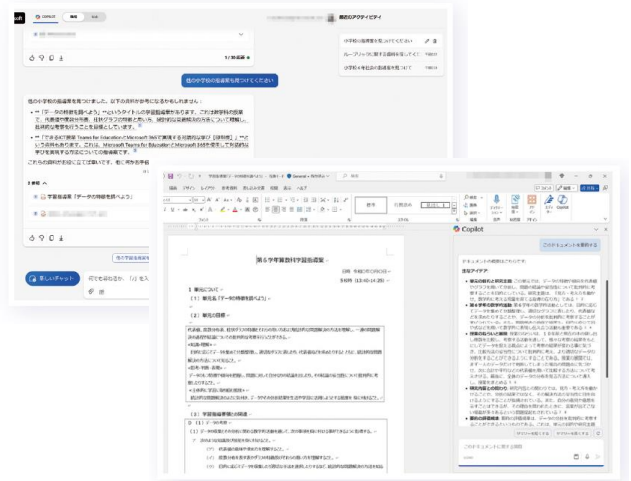
Copilot は学校現場の先生方の日々の業務を効率化し、先生方が本当に向き合うべきことに時間を割くためのアシストをします

日本の次世代のICT教育に関する話題の中で、全国の自治体ではGIGA（子どもたち1人1台端末配備）第2期に向けた準備が急速に進んでいます。その中で課題として話題に上がっているのが、教員の働き方改革です。先生の本分である教育活動に、先生は十分な時間を割くことができていません。文科省では、ICTを活用してこれらを改善するように、各自治体にKPIを設定して推進しています。我々は、Copilot とともに働くという、先生方の新しい働き方を提案し、教員の働き方改善のアシストをしていきます。

指導案の作成

授業に向けて、指導案を作成していきます。まずは、学校内で他の先生が作られた、これまで実践された指導案がないかを探してみます。Teams 上に置かれた Copilot から、該当単元の内容や学習目標を伝えて、参考にできそうなドキュメントを追いかけます。校内に隠れた、素敵な教材にもたどりつけるかもしれません。

ここで集めてきた学校内のドキュメントを参考して、指導案を作成していきます。それが Word、PowerPoint の形式であれば、Copilot に要約を指示することで、教材の要点を抽出することができます。その要点と学習目標、学習スケジュールを Word の Copilot に伝えて、ドラフトを作成して、と指示することで、指導案のたたきを作成することができます。



指導案を元にした小テストの作成

学習目標の達成度を把握するために、授業後に生徒に課題として提示する、小テストを作成することは多いかと思われます。一つ一つ、質問項目を入力するのは結構手間がかかります。

Word で作成した指導案を、Forms の Copilot から指示することで、小テストとして生徒に問うべき項目の案を簡単に作成してくれます。



協働学習のファシリテーションも

Copilot は学習活動にも役に立ちます。Microsoft Whiteboard に付随した Copilot を使えば、学習単元の情報を伝えるだけで、グループワークで議論すべきトピックの案を瞬時に作成してくれます。また、その後のまとめの活動でも、同じカテゴリの付箋を Copilot が一瞬でグループピング。授業実践の目的を達成するための、柔軟な授業展開が可能になります。



News
#1

中央省庁などを対象とした 生成 AI 活用セミナーを実施



Microsoft 365 Copilot

文書やプレゼンテーションの作成、要約、グラフ作成

Teams

会議の自動要約、議事録作成、自然言語で会議の雰囲気を確認

Power Platform

自然言語による更なるローコード開発により、誰でもアイデアを形に。

2024年5月20日、デジタル庁様からは生成AIの検証から得た10の学びと今後のチャレンジ、経済産業省様からは組織経営改革の一環としての生成AI取り組み事例と2024年度の拡大検証などについて発表がありました。発表内容の一部は、日経クロステックの記事として公開されています。

セミナー後、ローコードで作るチャットボット、Copilot for Microsoft 365 のデモを実施しました。



← [Microsoft 官公庁ブログ](#)
[日経クロステック 記事](#) →



News
#2

J-LISフェア2024にて Copilot for Microsoft 365 等生成AI技術や 公共事例の紹介ブースを出展！

10月9日（水）、10月10日（木）に幕張メッセ展示ホールにて今年も開催される「J-LIS地方自治情報化推進フェア2024」にマイクロソフトが出展します！
ブースでは Copilot for Microsoft 365 をはじめとする生成AI製品のデモや事例紹介、クラウドサービス活用相談、パートナーソリューションのご紹介などを実施予定です。10月9日（水）13:30～、10月10日（木）10:15～はバンダープレゼンテーションも各会場で行います。ぜひお越しください。

Microsoft の生成 AI ソリューション「Copilot」のラインアップ

Copilotは「副操縦士」という意味です。
Microsoftは、人間（＝操縦士）を生成AI（＝副操縦士）が支援することで、「Copilot」というブランドで生成AIのサービス群を展開しています。
本資料で紹介するCopilot for Microsoft 365 は、その名の通り、Microsoft 365 で生成AIが利用できるサービスですが、他にもブラウザで利用できる Copilot や、独自の生成AIチャットボットをローコードで開発できるCopilot Studio、生成AIOAPIを提供するAzure OpenAIも展開しています。



[J-LIS 地方自治情報化推進フェア2024](#)

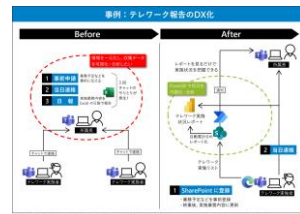


News
#3

自治体最新事例 Webサイトにて続々公開中！

「部門横断の人財活用で業務システム開発を内製化。
Power Platform で効率化 DX を推進する渋谷区の取り組み」

“業務全体を俯瞰する視点を持ち、本当に必要なツールや改善方法を考える”ことができるDX人財の育成を進め、Power Platformを駆使して業務システム開発を内製化する取り組みを紹介します。



[Microsoft Customer Story-部門横断の人財活用で業務システム開発を内製化。Microsoft Power Platform で効率化 DX を推進する渋谷区の取り組み](#)

「アジャイルで変革する世田谷区の DX 推進。
Support for Mission Critical で実現する
行政サービス再構築への挑戦」

ユニファイドサポートを活用し技術的な課題を迅速に解決しながら Microsoft 365 や Azure を活用することで、効率的な業務運営や安全なネットワーク環境を実現している世田谷区のストーリーです。



[Microsoft Customer Story-アジャイルで変革する世田谷区の DX 推進。Support for Mission Critical で実現する行政サービス再構築への挑戦](#)

News
#4

社会重要インフラを対象とした ラウンドテーブルを実施

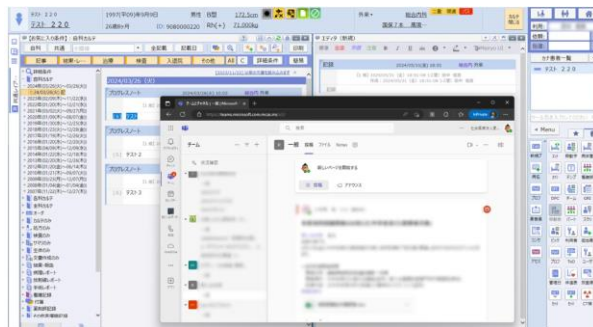
6月18日（火）に、社会重要インフラを担う各企業・各団体のお客様と、生成AIの活用推進をテーマとしたラウンドテーブルを開催しました。イベント前半は生成AIと組織の向き合い方について講演を行い、後半では座談会形式で全ての参加者により生成AIへの各社の取り組みや今後の展望について活発な意見交換が行われました。



News
#5

愛仁会様 Teams x 電子カルテ連携 事例公開

社会医療法人愛仁会様にて、Teams と電子カルテの連携の取組を発表頂きました。従来、閉域NWに置かれることが多い電子カルテですが、近年はセキュリティにおける考え方や対処法が変化してきたことで、少しずつ外の世界とつながりつつあります。MSのクラウドセキュリティとの連携により、診療系ネットワークから安全に Teams を利用できる環境を構築しています。



[Teams と電子カルテの連携によりコミュニケーションを活性化し、チーム医療を促進。社会医療法人愛仁会と明石医療センターが進める業務改革 - マイクロソフト業界別の記事 \(microsoft.com\)](#)



News
#6

「公共機関向け Microsoft AI ロードショー」開始

マイクロソフトは全国 47 都道府県の公共機関の皆様に向けて、AI のある新しい未来を紹介するイベント「公共機関向け Microsoft AI ロードショー」を開催いたします。

AI を活用したマイクロソフトの公共機関向け最新ソリューションのご紹介から、教育委員会・教育機関の皆様へ GIGA 第 2 期に向けたポイントをご紹介します。実際に公共機関の現場で活用できる AI の体験ブースも設置いたします。



(写真は佐賀県での様子です。)

編集後記

日本マイクロソフト株式会社
執行役員 常務 パブリックセクター事業本部長
佐藤 亮太



マイクロソフト株式会社はこの7月に新しい年度を開始しました。5月30日に行政機関向けの取り組み、7月24日にヘルスケア向けの取り組みをそれぞれ報道機関向けに発表させていただきましたが、昨年度はAIが本格的に導入される年として多くのお客様に活用いただきました。私たちの事業本部で担当させて頂いている領域だけでも100以上の主要行政機関や病院・製薬企業、教育機関などで活用が進み、具体的なユースケースも次々と生み出されてきています。

これにあわせて、今年度のパブリックセクター事業本部の活動テーマを、AX(AIトランスフォーメーション)が日本の社会を更に輝かせるというメッセージを込めて、「UNLEASH JAPAN POTENTIAL」とさせて頂いています。我々自身がお客様のCopilotとなり、お客様の中に潜在する可能性、本来持っている力や魅力を生成AIを活用してUNLEASH（解き放つ）していくことを目指します。

行政機関、病院、教育機関など、社会のインフラとなって支えている皆様の日々の仕事やサービスの中で当たり前クラウド・AIの実際の力を実感し、働き方・サービスの効率や質の向上につながるよう、ご支援を続けてまいります。

改めまして、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。





表紙・裏表紙画像はCopilotを使用して作成しております。

かけはし

テクノロジーでつながる、よりよい未来への懸け橋

